

令和3(2021)年度

「運営に関する計画」

(年度当初)

大阪市立栄小学校

令和3年4月～令和4年3月

大阪市立栄小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

教育目標を「自他を大切にし、夢と希望の実現に向かって取り組む子どもを育てる」と掲げ、これまで取り組みを推進してきた。その結果、児童には「自尊感情の高まり」「他者理解の高まり」など、人として大切な心が育まれてきた。これは、これまで先達が築き上げてきた歴史と伝統を脈々と受け継いできた成果であり、他校にはない本校の「強み」である。

平成30年度より指定期間3年として、『子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上等の取組をすすめる』ため、新たな取り組みを推進してきた。その中で新たに明確になった課題から、中期目標の改善と変革を行うこととなった。

学力においては、令和2年度の大阪市小学校学力経年調査(3年～6年)の結果において、3年生と5年生の平均正答率が大阪市の平均正答率より高い状況である。4年生と6年生の平均正答率が大阪市の平均正答率より低い状況である。教員の授業力の向上とともに、学習習慣や読書習慣の定着、学習環境の整備、増加している日本語指導が必要な児童への支援などが喫緊の課題となっている。

授業力の向上に向けては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要であり、この視点に立った学習プロセスとICT機器の効果的な活用をしながら、問題発見・解決のプロセスにおける学びの充実を図ることが重要である。加えて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習の基盤となる問題発見・解決能力、情報活用能力、言語能力の3つの資質・能力を育む必要がある。したがって、明確な研究主題のもとに日常の授業改善のあり方を見直せるような研究を推進することが不可欠となる。

また、学習習慣や読書習慣の定着に向けては、読書タイムやザクザクタイムなどの業間の時間を適切に活用するとともに、区役所の事業などを活用し放課後学習の機会を確保するなどして日常の習慣を確立する必要がある。

さらに、学習環境の整備に向けては、ICTの充実だけでなく、教材や教具の充実・図書の充実・教室の掲示や調光・ロッカーや下駄箱などに至るまできめ細かな整備にも目を向けていく必要がある。最後に、増加している日本語指導が必要な児童への支援については、日本語指導の機会の確保するために、日本語教室の活用だけでなく、本校独自の母語支援員や区役所の事業などを活用し取組を推進していくことが必要である。

これらの取組により、個々の教員の日本語指導が必要な児童への支援の負担を軽減し、日本語指導の必要のない他の児童へも注力できるのである。子どもたちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現、個に応じた指導の充実を図るとともに、個別最適化した学びの実現をめざす必要がある。

地域や関係諸機関との連携においては、「地域安全ステーション」などを中心に情報の共有がなされているが、家庭や保護者との連携においては、遅刻してくる児童が固定化されていたり、食育の啓発が必要であったりするなどの課題を有しており、活性化されてきているPTA活動を切り口にさらに推進していきたい。また、集団登校では、この数年間、地域の協力を得ることにより、見守り体制が確立してきており、今後、保護者への啓発も推進していきたい。

体力においては、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果より、経年的にみて伸びている種目があるものの、平成29年度の児童アンケートで「体を動かすことが楽しく、すすんで運動している」と答えた児童が89.1%であるにも関わらず、運動能力の向上という成果に表れていないため、体力向上の機会を確保することが必要である。

人権教育においては、自尊感情や他者理解に関する児童アンケートにおいて、肯定的な回答をする児童が多く本校教育の強みの一つとなっており、今後も人権総合学習をはじめとした取

り組みを地域や関係機関の人材や資源を活用しながら継続し、一人ひとりを大切にした教育を推進することが必要である。

教員の働き方改革においては、業務の精選などに取組むことより、子どもと関わる時間を確保したり、教材研究する時間を保障したりすることが重要である。そのためには、教科などの特性を加味した効果的な教材や教具ならびに物品の充実を図る。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和3年度～5年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年97%以上にする。（R2実績：100%）
- 令和3年度～5年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R2実績：91.4%）
- 令和3年度～5年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や希望を持っていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を平成31年度（81.5%）より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の全国学力・学習状況調査の標準化得点を100以上(平均以上)にする。

	H31	R2	R3	R4	R5
国算理	93 95	中止			

- 令和4年度の小学校学力調査の標準化得点を平成30年度より10ポイント向上させる。



- 令和3年度の小学校学力経年調査の標準化得点を100以上に(平均以上)にする。

卒業年次	H30	R1	R2	R3	R4
R3卒	92.8	95.3	100.5		
R4卒		98.9	99.8		
R5卒	—	—	101.7		
R6卒	—	—	—		

- 令和3年度年の全国体力・運動能力運動習慣調査において、すべての結果を平成28年度より上回る。

男子	51.94	未実施		
女子	53.83	未実施		

校内調査により実施予定

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- (1) 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

R1	R2	R3	R4
100	100		

(2) 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。	94.0	93.0		
(3) 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。	0	0		
(4) 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	1.96	4.93		

学校園の年度目標	R1	R2	R3	R4
① 今年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や希望を持っていますか。」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を75%以上にする。	81.5	89.3		
② 今年度末の本校児童アンケートにおいて、				
(a) 「すすんであいさつする」において85%以上にする。	87.5	88.6		
(b) 「集団登校がきちんとできている」において87%以上にする。	88.8	91.3		
(c) 「自分には良いところがあると思う」において80%以上にする。	83.3	89.3		
(d) 「相手の気持ちを考えて行動することができている」において90%以上にする。	90.8	93.2		
(e) 「人にはそれぞれ違いがあつていいと思う」において92%以上にする。	97.7	98.9		
③ 今年度末の保護者アンケートにおける肯定的な回答について				
(a) 「PTA 活動がどのようなものか知っていますか」で80%以上にする。	74.9	71.0		
(b) 「PTA 活動に参加したことがありますか」で70%以上にする。	56.8	37.3		
(c) 「PTA 活動が活発に行われている」で65%以上にする。	63.6	未実施		

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）		H30	R1	R2	R3
(1) 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団と比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。	R3 卒	92.8	95.3	100.5	
	R4 卒	-	98.9	99.8	
	R5 卒	-	-	101.7	
	R6 卒	-	-	-	
(2) 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団と比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。	R3 卒	38.7	28.1	6.9	
	R4 卒	-	14.3	13.5	
	R5 卒	-	-	16.7	
	R6 卒	-	-	-	
(3) 小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一母集団と比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。	R3 卒	3.2	12.5	20.7	
	R4 卒	-	16.7	24.3	
	R5 卒	-	-	41.7	

(4) 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。	R6 卒	-	-	-		
	R3 卒	63.6	72.7	82.1		
	R4 卒	-	90.7	93.1		
	R5 卒	-	-	88.8		
	R6 卒	-	-	-		
(5) 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるソフトボール投げの平均の記録を、前年度より男女とも5%向上させる。	男子	24.0	20.5	19.69		
	全国平均	(22.15)	(21.61)	未実施		
	女子	12.11	13.31	14.29		
	全国平均	(13.77)	(13.61)	未実施		
学校園の年度目標		R1	R2	R3	R4	R5
① 今年度の全国学力・学習状況調査の <u>標準化得点を95以上</u> にする。	国算理	93	中止			
		95				
② 今年度末の本校児童アンケートにおいて、次の項目について「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と答える児童の割合						
		R2	R3	R4	R5	
	(a) 「すすんで学習することができている」において85%以上にする。	95.3				
	(b) 「図書室や教室、ミニミニ図書館などで、本をよく読むようにしている」において65%以上にする。	71.4				
	(c) 「給食後の歯磨きをきちんとしている」において90%以上にする。	未実施				
(d) 「からだを動かすことが楽しく、すすんで運動している」において90%以上にする。	93.3					
③ 今年度末の保護者アンケートにおける「子どもは朝ごはんを食べている」と答える保護者の割合を90%以上にする。		90.5				

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

大阪市立栄小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>(1) 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>(2) 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>(3) 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>(4) 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>① 今年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や希望を持っていますか。」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>② 今年度末の本校児童アンケートにおいて、次の項目について「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と答える児童の割合を合わせて</p> <p>(a) 「すすんであいさつする」において 85%以上にする。</p> <p>(b) 「集団登校がきちんとできている」において 87%以上にする。</p> <p>(c) 「自分には良いところがあると思う」において 80%以上にする。</p> <p>(d) 「相手の気持ちを考えて行動することができている」において 90%以上にする。</p> <p>(e) 「人にはそれぞれ違いがあつていいと思う」において 92%以上にする。</p> <p>④ 今年度末の保護者アンケートにおける「PTA 活動が活発に行われている」と答える保護者の割合を 70%以上にする。</p>	

校内の調査で実施予定

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>児童が互いに声をかけ合い、学校の仲間として認め合えるように、たてわり活動や異学年交流を活性化させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり活動を毎月1回、異学年交流を各学年で年1回実施する。 	
<p>取組内容②【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>人権教育をSDGsの視点と関連付けながら進めるために、教科・領域の学習を横断的・総合的に取り組む年間指導計画を作成するとともに、必要に応じて地域の施設を活用したり、人材を招いたりして、児童が主体的に取り組めるようにし、学習したことを学校全体に広める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設を利用したり人材を招いたりする活動を各学年で年1回実施する。 ・学習したことを学校全体に広める取り組みを各学年で年1回実施する。 	
<p>取組内容③【施策3 道徳心・社会性の育成】</p> <p>児童がすすんであいさつができるように指導する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ運動」を各学期1回実施する。 	
<p>取組内容④【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>児童が安全に集団登校できるように指導する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地区別児童会」「班長会議」を各学期に1回実施する。 ・全校児童が集まる場で、集団登校について振り返る時間を毎月1回設定する。 	
<p>取組内容⑤【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学校・家庭・地域諸団体が連携し、子どもたちが安心して過ごせる地域をつくる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域と連携した取り組みを年3回実施するとともに、学校HPや学校だよりなどを活用し、取り組みの発信を行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立栄小学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>(1) 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>(2) 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。</p> <p>(3) 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。</p> <p>(4) 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>(5) 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるソフトボール投げの平均の記録を、前年度より男女とも 5% 向上させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>① 今年度の全国学力・学習状況調査の<u>標準化得点を 95 以上</u>にする。</p> <p>② 児童生徒の ICT 活用を指導ができていると肯定的に回答する教員の割合を昨年度よりも増加する。</p> <p>③ 今年度末の本校児童アンケートにおいて、次の項目について「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と答える児童の割合を合わせて</p> <p>(a) 「すすんで学習することができている」において 85% 以上にする。</p> <p>(b) 「図書室や教室などで、本をよくよむようにしている」において 65% 以上にする。</p> <p>(c) 「食後の歯磨きをきちんとしている」において 90% 以上にする。</p> <p>(d) 「からだを動かすことが楽しく、すすんで運動している」において 90% 以上にする。</p> <p>④ 今年度末の保護者アンケートにおける「子どもは朝ごはんを食べている」と答える保護者の割合を 90% 以上にする。</p>	<p>校内の調査で実施予定</p>
<p>◆浪速区学習意欲向上推進事業 (漢検受験支援)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>・ 2 年生の合格率为 90% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 研修の充実と授業研究の実践により、教員の指導力向上を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が様々な授業形態の工夫に取り組みながら、年1回以上の研究授業と討議会を実施する。 ・学校における情報化の実態等に関する調査において、児童生徒のICT活用を指導ができていないと肯定的に回答する教員の割合を90%以上にする。 	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学年に応じた学力を身につけさせる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な学力の定着を図るため、学年の実態に応じた漢字の反復練習などの課題に取り組む時間を週2回以上設定する。 	
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 読書タイムの活用、図書室の効果的な利用、学級文庫の充実、読み聞かせの取り組みを行い、読書習慣の定着を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書タイムを週2回以上実施する。 ・地域ボランティアと連携して読み聞かせを月1回実施する。 	
<p>取組内容④【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】 歯みがきの習慣化に向けて、日々の指導と家庭への啓発を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきチェックを正しく行うため、「歯の日」を毎月1回、学年の実態に応じた歯の指導を年1回設定する。 ・夏季休業前、冬季休業前に、歯みがきカレンダーを各1回発行する。 	
<p>取組内容⑤【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】 体力向上のために、運動する機会を増やす。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけあし月間を年1回設定し、体育の学習を中心に外で運動する児童を増やす。 ・大縄大会を年1回設定し、学級全員が外で運動する機会を増やす。 	
<p>取組内容⑥【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】 食の大切さを指導するとともに、家庭への啓発を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で「食」に関する学習を年1回以上実施する。 ・給食だよりを毎月1回発行する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点